



# 壱岐高便り

第140号

発行責任者  
山口 千樹



携帯  
サイトへ

長崎県立壱岐高等学校

長崎県壱岐市郷ノ浦町片原触88

[TEL]0920-47-0081

[HP] <http://www2.news.ed.jp/section/iki-h/>

## 巻頭言

### 「地方で暮らす強み」

校長 山口 千樹



6月に壱岐高校東京同窓会に出席しました。皆さんが真面目で一生懸命頑張っていることを報告すると、お集まりの先輩の皆さんは眼を細めて喜んでいらっしゃいました。その一方で、進学や就職で関東地方を目指す生徒が激減していることに驚いていらっしゃいました。

私が高校生だった1980年代は、政治・経済・文化などのあらゆる分野で日本の中心は東京でした。「まずは東京に行かなくては」と何となく思っていました。また当時、早稲田大学、青山学院大学、国土館大学、日本体育大学など、東京の大学出身の先生方がいらっしゃり、先生方が語る東京での大学生活はとても魅力的に思えました。そのせいか、私のクラスメートの多くが、関東地方に進みました。

しかし、時代は変わりました。ICT技術が発達し「情報」があふれており、東京にいなくても最新の情報を得ることができます。また、情報が氾濫するにつれて、「現実」の価値がさらに増していきます。たくさんの情報をまとめてみると「地方の方が安全で安心して暮らせるようだ」、と気づく人が増えてきたのです。このように考える若者が、生活の中心を大都会から福岡市のような地方にシフトしているのだと思います。

現在、皆さんが暮らす壱岐には、福岡市でも手に入れることが難しい、新鮮で豊かな食材や、美しい空や海、温かい人情があふれています。お金をかけても手に入れることができないものが、そこに転がっているのです。皆さんは、そのような豊かな現実の中で暮らすという「強み」に気づくべきです。地方に住んでいるのに、無理して都会みたいな生活をするのはもったいないです。スマホの電源を切り、ヘッドフォンをはずして、虫や鳥の声に耳を傾けたり、海の青さや畑の緑に眼を向けたりしてください。都会ではできないことを、感受性が強い若い時代に満喫してほしいのです。

きっと、これらの経験は、皆さんの心の奥底で生き続け、いずれ都会で暮らすことになっても、本当に大切なものを判断する基準になるはずです。地方で暮らす強みを、自分のものにしましょう。



## 第 3 学 年 よ り

壱岐高生の柱といえば、「学習」と「部活動」。ついに70回生は高校総体が終わり、部活動を引退しました。保護者の皆様、ここまで部活動をサポートしていただきありがとうございます。心から感謝を申し上げます。高総体後の学年集会では、本村より「よくここまで成長してくれた。朝練や放課後の時間延長も通じて、部活動を本当によく頑張った。立派だった！」と生徒に伝えました。子どもが目標に近づけるように努力するさま、本番で精一杯戦うさま、試合結果が悔しくて涙を流すさま。子どもの様々な成長場面を目の当たりにするだけでなく、逞しくなった生徒に労いの言葉をかけることができ、本当に幸せでした。保護者の皆様も、お子様の成長を一際嬉しく感じられたことと思います。

しかし、試合が終わって、悔いが残っていない生徒はきっといないでしょう。「あのとき、もっと〇〇していれば…」、「この〇〇が無ければ」などの悔しい気持ちを、進路実現の過程で再び感じることはないように、もう1つの柱である「学習」に精一杯取り組んでいく時です。もちろん、最後に流す涙は「悔し涙」ではなく、絶対に「嬉し涙」でなければなりません。

70回生も大きな転換点を迎え、「高い志を持ち、目標の実現に向けて主体的に努力する」(壱岐高校教育目標より)べき時です。まずは、生徒のみならずには大きくて明確な進路目標を抱いてもらいたい。目標が明確になると、自ずと道は拓けてきます。目標の下、何をすべきか分かった生徒は一層頑張れます。周りの家族、教職員も積極的にサポートができます。1学期末考査が終わり、お子様が明るい未来の礎を築き始める今、一緒にお話しができたと思います。7月11日(火)からの三者面談、学校でお待ちしています。

## 第 2 学 年 よ り

高総体が終わり、多くの部活動で新しい体制に変わりつつあります。そこではもう2年生が主体となり、

チームを牽引しなければなりません。まだまだ発展途上の2年生ではありますが、顧問の先生方や保護者の皆様の激励を糧に成長してくれると信じて見守っていきたいと思います。応援をどうぞよろしくお願い致します。また、先日、総合的な学習の時間の一環として、「事業所訪問」を実施しました。島内の10事業所を訪れ、直接お話を伺う貴重な機会となりました。私も壱岐裁判所に引率してきましたが、裁判所の役割や実際の業務内容、取り扱う案件の地域性など、質問に丁寧に答えていただき、生徒たちも熱心に聞き入っていました。ご家庭で生徒たちの感想を聞かれたでしょうか、このような体験を、これからまた、職業観や進路意識の醸成に繋げていただき、7月の三者面談がより有意義なものとなればと考えています。

## 第 1 学 年 よ り

先日の上理選択説明会では、90名もの保護者のご参加をいただき、誠にありがとうございました。高校1年生にとって、将来の夢を見つけるのはなかなか難しいものです。しかしながら、自分の進む道を模索し続けることは必要不可欠です。その一歩として文系・理系の選択があります。「子どもに任せてますから…」ではなく、生徒・保護者・教師が一体となって、共に考え、共に検討していくことが大切です。7月11日(火)から始まる三者面談の中では上理の最終確認を行います。お忙しい中誠に申し訳ありませんが、ぜひご出席いただきますようよろしくお願い致します。



上理選択説明会の様子↑  
多くのご参加ありがとうございました。

## 東アジア歴史・中国語 コース

5月27日(土)、原の辻ガイダンスにて、「古代米づくり体験(お田植え祭)」が開催され、本校の東アジア歴史・中国語コース1・2年生の18名が参加してまいりました。

古代米づくりは、農機を使わずに素手による田植えで、古代人の生活さながらの体験をすることができました。1年生の中には初めは戸惑う生徒もいましたが、次第に2年生同様、手際良く植えることができるようになりました。

今年は、10月14日(土)に刈り入れ祭、10月28日(土)に収穫祭が予定されています。皆さんも奮って参加していただき、生徒の様子を観察されてみてはいかがでしょうか。



## 壱岐高Topics!

## 7月行事予定

①1年 ②2年 ③3年

### 「生徒会総務委員選挙」

6月15日(木)、生徒会総務委員選挙及び立会演説会が行われました。

また、立会演説会終了後は壱岐市選挙管理委員会事務局のご協力により、実際の選挙で使用する投票箱やついたてなどを設置して投票を行いました。

次世代の壱岐高校は「主体的な生徒会」を目標に、生徒が自ら考えて行動する生徒会を目指しています。活気あふれる壱岐高校にぜひご期待ください。



## 進路指導部 より

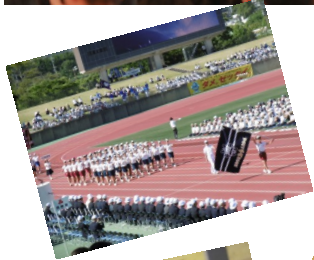
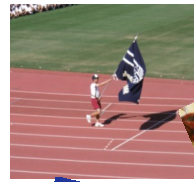
すべての壱岐高生にとって7月から8月は進路実現に向けた大切な節目の時期となります。**1年生**は文理選択を決断する時期です。将来にかかわる大事なことですので、ご家庭でお子様を交えて話し合う機会を十分設けてください。また、夏休みの間に壱岐高生にふさわしい学習習慣を身につけてほしいと思います。**2年生**にとっては高校生活の折り返しに差し掛かる時期です。学力の更なる充実と進路意識の向上が求められます。夏の補習を上手に生かして不得意科目の克服に努めるよう激励していただければと思います。大学等のオープンキャンパスへの参加も進路意識の向上につながります。**3年生**の進学についてはこの夏が天王山です。合宿などを通して、悠々と急ぎながらも焦らず基礎固めを行うことが大切です。就職については、学校に求人票が届き始め、公務員試験については出願も始まる時期です。安易に楽な道を選択しないよう強い気持ちで第一志望を貫きましょう。



1	土	★①②③ 高大連携(長大) ②③ 公務員講習・インターンシップ事前指導③ 生徒会総務委員会研修会
2	日	第4回公務員模試(実教)③
3	月	インターンシップ 長崎っ子の心を見つめる教育週間~7/7 授業支援①(家庭科)
4	火	インターンシップ 授業支援①(家庭科)
5	水	インターンシップ
6	木	インターンシップ LHR(性教育① 進路のしおりを読む②③)
7	金	インターンシップ 全国高校野球県予選(~25)
8	土	進研記述(5教)③ 進研実力(3教)①② インターンシップ 事後指導③
9	日	進研記述(5教)③ 第1回英検二次
10	月	
11	火	三者面談(短縮)
12	水	三者面談(短縮)
13	木	三者面談(短縮)
14	金	三者面談(短縮) 第1回漢字検定
15	土	★③ 東大プレ(代ゼミ)③ 公務員無料講習(福岡)③(~16)
16	日	東大プレ(代ゼミ)③
17	月	【海の日】
18	火	三者面談(短縮) 文化祭企画書 最終締切
19	水	球技大会
20	木	終了式・大掃除 吹奏楽部・放送部・総文祭出場者推戴式
21	金	夏季補習①②③
22	土	
23	日	
24	月	夏季補習①②③ 上海中国語研修(~8/7)
25	火	夏季補習①②③ 校内学習会結団式① ☆体験入学(普通コース)
26	水	夏季補習③ 校内学習会① i-7'0Y I外②
27	木	夏季補習③ 校内学習会① i-7'0Y I外②
28	金	夏季補習・合宿結団式③ 校内学習会① i-7'0Y I外②
29	土	校内学習会①
30	日	学習合宿③(日田) 市議会選挙
31	月	学習合宿③(日田) コース歴史学巡検② ~8/4 宮城総文祭~8/4



# 高総体特集



6月2日より長崎県高校総体が開催されました。各部とも熱戦を繰り広げ、特に陸上競技では3年1組栗元さんと甲原くんが北部九州インターハイに出場し健闘しました。どの部活動も吉岐高校の代表として素晴らしい活躍ぶりを見せてくれました。たくさんの応援ありがとうございました。



## 蔡先生コラム 『文化旅行』

皆さん、書道は好きですか。今日は、中国の“文房四宝”を紹介します。筆、紙、墨、硯で文房四宝と言いますが、筆は湖州(湖筆)、紙は宣城(宣紙)、墨は黄山徽州(徽墨)、硯は肇慶(肇慶の中にある端溪の硯という意味で端硯)が有名です。その中で一番面白い話は筆の誕生です。筆を発明したのは秦の時代の将軍、蒙恬だといわれています。蒙恬は森での狩猟が好きでした。ある日、蒙恬がうさぎを捕らえた時、うさぎの尻尾が地面に垂れ、跡が残りました。それを見て蒙恬は尻尾で字が書けるのではないかと思いたち、うさぎの尻尾を切り落として竹筒に挿しました。しかし、うさぎの毛はインクを吸収せず、うまく字を書くことができません。蒙恬は怒って筆を窪みに投げました。数日後、彼がその場所を通ると筆を拾いました。それは自分が投げ捨てた筆でした。すると不思議なことに、その筆で書く字はとでもきれいに書けました。その原因は、窪みにある石灰がうさぎの毛を柔らかくしたことにありました。こうして筆が誕生しました。

